

シンポジウム(東京)

2023年9月17日(日) 13:00-17:00

国立新美術館 3階講堂

基調講演 (ドイツ語、同時通訳付き)

ヴィクトリア・フォン・フレミング (ドイツ・ブラウンシュヴァイク美術大学)

パネリスト(五十音順)

石田 圭子 (神戸大学) / 香川 檀 (武蔵大学) /

マーレン・ゴツィック (福岡大学) / 鈴木 賢子 (京都芸術大学) /

仲間 裕子 (立命館大学) / 結城 円 (九州大学)

講演会(福岡)

2023年9月29日(金) 18:00-20:00

福岡市立美術館 ミュージアムホール

講演 (ドイツ語、逐次通訳付き)

ヴィクトリア・フォン・フレミング

音楽演劇

<ヴァニタス・シリーズ Vol.2: フォーリングス>

いずれも参加費無料、予約不要

# VANITAS

現代美術と写真にみる「はかなさ」のイメージ 日独共同研究の成果から



存在への不安が蔓延する現代、アートはなにを語りかけてくるのか？

# VANITAS

現代美術と写真にみる「はかなさ」のイメージ

日独共同研究の成果から

## シンポジウム(東京)

2023年9月17日(日) 13:00-17:00 (開場12:30)

国立新美術館 3階講堂

### 第1部 13:00-

基調講演(ドイツ語、同時通訳付き)

ヴィクトリア・フォン・フレミング

「現代芸術におけるヴァニタスの回帰 —— ドイツの芸術学がひらく視座」

### 第2部 14:15-

仲間 裕子(立命館大学名誉教授)

「〈消滅〉と〈永遠〉の時間・身体 —— 杉本博司の死生観とヴァニタス思想」

鈴木 賢子(京都芸術大学特任准教授)

「畠山直哉の写真における川の表象 —— 〈無常〉をめぐる一考察」

結城 円(九州大学准教授)

「写真の間文化的な時間性 ——

荒木経惟『TOMBEAU TOKYO』におけるヴァニタスと無常」

マーレン・ゴツィック(福岡大学教授)

「ゴミが化石になるとき —— 三島喜美代の作品における物質と時間性」

石田 圭子(神戸大学准教授)

「草間彌生における〈ヴァニタス〉のフェミニズム的転回」

香川 檀(武蔵大学教授)

「居場所のはかなさ —— イケムラレイコの描く〈母の国〉と死」

### 第3部 16:30~17:00

コメントと質疑応答

司会: 香川 檀(武蔵大学教授)

## 講演会(福岡)

2023年9月29日(金) 18:00-20:00 (開場17:30)

福岡市立美術館 ミュージアムホール

音楽演劇

< ヴァニタス・シリーズ Vol.2 : フォーリングス >

作曲・演出: ゼミソン・ダリル

演奏: 石川 高(笙・箏)、松隈 聡子(ヴィオラ)、宇野 健太(チェロ)

映像制作: 雪阿弥

講演(ドイツ語、逐次通訳付き)

ヴィクトリア・フォン・フレミング

「〈人新世〉に向き合うヴァニタス」

司会: 結城 円(九州大学准教授)



ヴィクトリア・フォン・フレミング  
Victoria von Flemming

ドイツ・ブラウンシュヴァイク美術大学  
教授。中近世美術史、モダン・ポストモ  
ダン研究。

編著に「バロック・モダン・ポストモダン  
——未解明の関係」(2014)、「反復とし  
てのヴァニタス」(2022)など。

東京・福岡とも  
参加費無料、予約不要

ホームページ

<https://yuki.purpur.jp>

問い合わせ

シンポジウム(東京)

香川 檀 研究室:  
[mayumi-k@cc.musashi.ac.jp](mailto:mayumi-k@cc.musashi.ac.jp)

講演会(福岡)

結城 円 研究室:  
[yuki@design.kyushu-u.ac.jp](mailto:yuki@design.kyushu-u.ac.jp)

主催

科研費  
KAKENHI

科研費研究(B)

「近現代美術における死生観の研究

～「ヴァニタス」表象を中心に」

(課題番号:20H01206 /

研究代表者: 香川 檀 武蔵大学教授)

共催

新 THE NATIONAL  
ART CENTER TOKYO  
国立新美術館

国立新美術館  
〒106-8558  
東京都港区六本木7-22-2  
<https://www.nact.jp>

福岡市美術館  
FUKUOKA ART MUSEUM

福岡市美術館  
〒810-0051  
福岡市中央区大濠公園1-6  
<https://www.fukuoka-art-museum.jp>

協賛

九州大学 | 大学院芸術工学研究院